

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐむ 学校力向上プラン【学校評価書】

中学校区におけるめざす子ども像(確かな学び)自分の考えを伝え合い、学びを深め、その知識を活用することができる子(豊かな心)互いに認め合い、協力し合う子(健やかな体)自他の体を大切にし、健やかでたくましい子

堺市立西百舌鳥小学校
校長 藤井 良江

令和7年度 重点目標
「確かな学び 豊かなつながり 高め合う集団」
①チーム力を生かした学力の向上 ②人権尊重を基盤にした豊かな心の育成 ③健やかでたくましい子の育成 ④「つながる教育」「ひろがる教育」の推進

確かな学びの現状
・校内研修では、3年間算数の授業について研究を進めてきた。自分の考えを書いたり交流したりすることについて一定の成果が見られるが、全国学調やすくすくウォッチの分析からも読解力や表現力に課題が見られた。そこで今年度は、国語科の研究を推進し、学年に応じた読解力や表現力の育成を図る。

豊かな心
・健やかな体の現状・昨年度の学校教育アンケートでは、「進んであいさつをしている」が82.2%、「自分や友だちの良いところを見つけようとしている」が84.3%の肯定回答があった。
・昨年度の新体カテストでは、堺市平均を上回っている種目や平均に近い結果の種目も多かった。一方、筋力や敏捷性、持久力に課題があるため、今後一層体力向上に取り組んでいく必要がある。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)				
								自己評価	学校関係者評価			
確かな学び	授業改善	探究的な学習(学びのコンパス)を通して、総合的な学力を向上させるため、児童の思考力・判断力・表現力を育成する。	●国語科の授業において、児童自らが問いをもち、読み深めることができる授業実践を行う。	「国語の授業で、自分の問いをもち、取り組んでいる」で肯定回答80%以上	学校教育アンケート	年度末	アンケート集計中	○	「国語の授業で、自分の問いをもち、取り組んでいる」で肯定回答77%であった。研究授業討議会などの校内研修や年度末の総括において、授業改善が進み、児童の探究的な学びが広がったことが成果としてあがった。	○	教室環境が整っており、雰囲気がよく、教師の指導が行き届いていた。読む・書くの基本としての文字を大変きれいに書いている学級があり感心した。学校全体に広げてほしい。子どもの達の作文の語彙が多く、向上心の高さを感じた。	
	自ら学ぶ姿勢	主体的に学ぶ児童を育成する。	★発達段階に応じて、進んで家庭学習に取り組む態度を養う。 児童用タブレットを活用した授業を実践し、個別最適な学びの充実を図る。	「自主学習に進んで取り組んでいる」で肯定回答75%以上 「児童用タブレットは自分たちの学習に役立っている」で肯定回答90%以上	学校教育アンケート 学校教育アンケート	年度末 年度末		アンケート集計中	○	「自主学習に進んで取り組んでいる」で肯定回答75.5%であった。「児童用タブレットは自分たちの学習に役立っている」で肯定回答84.3%であった。	○	自主学習を他の児童に広げるための廊下掲示があつてよい。さらに機会を増やして、子どもたちの自己肯定感を高めてほしい。新しいタブレットの活用をさらに推進してほしい。
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	人権尊重を基盤とした教育を充実させ、豊かな人間性を育成する。	支援学校との交流を通して、障がいのある人や様々な人と協力しようとする態度を養う。	発達段階に応じた交流等の実施	実施状況	年度末	2～4年生で各支援学校との交流を実施した。		○	2～4年生で各支援学校との交流を実施した。「進んであいさつをしている」で肯定回答83.6%であった。「自分や友だちの良いところを見つけようとしている」で肯定回答83.6%であった。	○	支援学校の近くという立地の利点を活かして活動が盛んになり、障がいに対する理解が進んでいるようで嬉しく思う。明るい挨拶なら、◎ではないかと思う。
			あいさつ運動や児童会での啓発活動を実施し、自分からあいさつできる児童を育成する。	「進んであいさつをしている」で肯定回答85%以上	学校教育アンケート	年度末		○		○		
			●自他を尊重する心を育む。	「自分や友だちの良いところを見つけようとしている」で肯定回答85%以上	学校教育アンケート	年度末		○		○		
体力向上		運動に親しみ、運動することの楽しさを感じ、体力を向上させる。	授業でのかけ足やなわとびに加え、学校全体の取り組みとしてなわとび集会を実施する。また、かけ足カード等を活用することで運動への意欲を高める。	「体育の時間や休み時間等に進んで体を動かしている」で肯定回答85%以上	学校教育アンケート	年度末	アンケート集計中	○	「体育の時間や休み時間等に進んで体を動かしている」で肯定回答83.6%であった。	○	外ではよく遊んでいる。さらなる体力向上をめざしてほしい。なわとび等が苦手な子へ支援する機会を増やしてあげてほしい。	
地域協働	開かれた学校	教育活動の積極的な発信に努め、開かれた学校づくりをめざす。	学校ホームページや校報、保健だより等を活用し、教育活動の発信に努める。また、tetoruを積極的に活用し、情報を発信する。	学校ホームページを毎日更新、校報、保健だよりの毎月発行	実施状況	年度末	○	継続して更新している。	○	個人情報に配慮しながら行事・授業風景等、様々な場面をアップしてきた。今後も教育活動が伝わるよう更新を継続していく。	○	引き続き、個人情報に配慮しながら、教育活動が伝わるようにしていただきたい。

校長より(年度末)
「確かな学び」については、探究的な学習(学びのコンパス)を通して、国語科の授業改善を行った。常にゴールを見据えて単元を構成し、子どもたちの問いを大切に授業実践を重ねることができたので、来年度もさらに深まりのある実践を継続することで子どもたちの総合的な学力を高めていきたい。また、新しいタブレットを活用した個別最適な学びの充実を図っていきたい。「豊かな心」では、取り組みを拡充し、運動習慣とさらなる体力向上をめざしていきたい。「開かれた学校」では、引き続き個人情報に配慮しながら、保護者や地域に教育活動を発信し、ともに連携して安心・安全な学校づくりに邁進していきたい。

学校関係者評価者から(年度末)
学校生活が落ち着いていて、子どもの尊厳が守られているように思う。地域の場でも、積極的に挨拶をする子どもが多い。学校アンケートの肯定回答ではない部分に視点を向けて把握することで、児童・保護者・学校にとってよりよい方向に進んでいくと感じる。また、地域との連携をさらに進めていってほしい。不登校支援の場を中学校区で進めていくことを今後の課題にしてほしい。